

## キャンプにおけるアプリを用いたふりかえり活動が キャンプカウンセラーに及ぼす効果

○曲奏海（関西学院大学）西垣幸造（公益財団法人 日本アウトワード・バウンド協会）  
下村悟（公益財団法人 日本アウトワード・バウンド協会）甲斐知彦（関西学院大学）

### 1. はじめに

野外教育において、自然の中での体験活動を学びや成長に結びつけるためには、ふりかえり活動が重要である。ふりかえり活動はキャンプカウンセラー等の指導者によって実施されるが、指導歴や知識によってふりかえり活動のできは左右され個人差が生じてしまう。そこで本研究では、キャンプでのふりかえり活動を促進するアプリケーション（以下、アプリ）を作成し、実際にキャンプ場面で用いることによってキャンプカウンセラー等の指導者にどのような効果を与えるのかを明らかにすることを試みた。

### 2. 作成したアプリの概要

本アプリは以下の4つの手順に沿ってふりかえり活動が進行される構成とした。

#### (1) 今日の活動内容を振り返る

「今日はどんなことをした？思い出してみよう」と参加者に問う画面が表示し、1日の活動を思い出すことから始める。

#### (2) ふりかえりの質問項目に回答する

本アプリでは「1 楽しく活動できた」、「2 仲間と協力できた」、「3 新しいことに挑戦できた」という3つの質問項目を設けた。参加者は各質問に対して「できた」、「どちらでもない」、「できなかった」の選択肢から該当するものを1つ選んで回答し、指導者およびメンバーに結果を共有するものとした。

#### (3) なぜそう思ったのか理由を考える

参加者に「どうしてそう思ったの？」と選択肢を選んだ理由を問う画面が表示され、それに答える形でその理由を発言する状況を作った。

#### (4) 今日のキャンプでの経験を明日の活動に活かすためにはどうすればよいか考える

「今日のキャンプでの経験を踏まえて明日の活動ではどうすればよいのか」といった実践の仕方を質問する画面を表示し、次の日の活動につながる形でアプリを終了するものとした。

### 3. 評価方法

評価方法としては、尼崎市立美方高原自然の家で行われたキャンプで本アプリを用いたふりかえりを実施し、キャンプカウンセラー3名、プログラムスタッフ3名、およびプログラムディレクター1名の計7名に対してアンケート調査を実施した。アンケート調査では対象者の指導歴、キャンプ参加者や指導者に対する効果といった本アプリの有用性、本アプリを使用した感想について回答を求めた。

### 4. 結果・考察

アンケート調査の結果は図1～図4に示すとおりである。図1に示すとおり、指導歴については、「未経験であった」及び「1年未満」の回答が大半を占めており、指導歴が少ない指導者であった。参加者や指導者に対

する効果といった本アプリの有用性についての設問では、図2、図3に示すとおり、回答者7名全員が「そう思う」または「ややそう思う」と回答しており、本アプリを高く評価していることが明らかになった。本アプリを使用した感想では、「参加者が意欲的にふりかえり活動に取り組んでいた」「参加者自身でタブレットを操作できて楽しそうだった」等、参加者が本アプリに興味を持ってふりかえり活動を行っていたという趣旨の記述があった。また、「アプリの質問から更に話を広げることができた」「明日の活動での目標を立てやすかった」等、指導者が本アプリを活用して充実したふりかえり活動を実施できたという趣旨の記述があった。

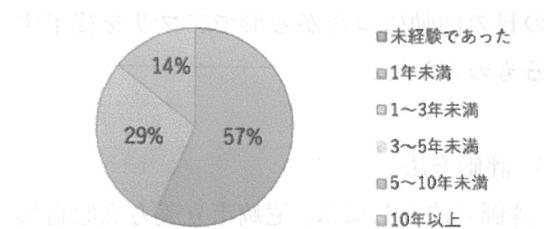


図1 調査対象者の指導歴

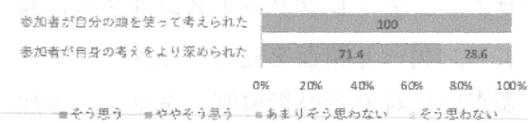


図2 キャンプ参加者に与えた効果

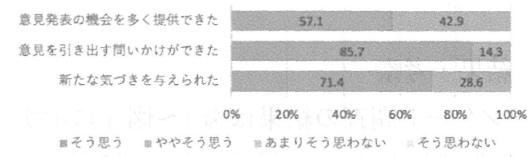


図3 キャンプ指導者に対する効果

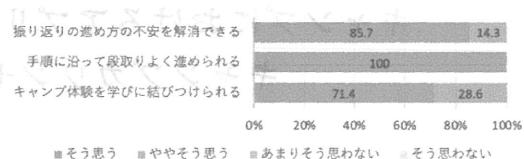


図4 指導歴の少ない指導者に対する効果

また、図2に示すとおり、本アプリを用いたふりかえり活動によって参加者が自分の頭を使って考えをより深められたと多くが答えている。このことは、本アプリで提示された問いかけによって、参加者がキャンプでの経験を頭で整理し、気づきを言語化する場面が多く設けられたためではないかと推察される。

なお、本調査対象は指導歴の少ないキャンプカウンセラーであったが、以上のように学びに結びつけるふりかえり活動を実施できたことから、指導歴の少ないカウンセラーにとってアプリが有用であることが明らかになった。その要因として、本アプリがふりかえり活動の進め方や参加者に対する問い合わせ方などを具体的に理解しやすく、ふりかえり活動の指導マニュアルとして機能し指導技術を支援できたことが考えられる。

## 5. まとめ

本研究の結果、開発したアプリの使用によって、以下のことが明らかになった。

- ・参加者の意見発表の機会を多く提供でき、キャンプ指導者による意見を引き出す問い合わせを促し新たな気づきを得やすくなる。
- ・指導歴の少ないキャンプカウンセラーであっても参加者の学びにつながるふりかえりの実施を可能とする。